

作文部門受賞作品

静岡県知事賞

つばめの巣立ち

熱海市立多賀中学校

一年 佐々木 玲 央

今年の六月の終わり頃、私の家のベランダにつばめが巣を作り始めました。

ベランダの手すりには、鳥が止まる事もたまにありますが、少しでも人間の気配がすると、パッと飛んで行ってしまいます。今回、巣作りを始めたベランダがある部屋には、私はよく行き来をするので、この場所をつばめが選んだ事に、少しびっくりしていました。

つばめは一日に何回もベランダに来ては、コツコツと巣を作っていました。私が気になつて、ベランダをのぞくと、つばめは警戒して巣に近づきません。私は、あまりのぞかないようにして、見守る事にしました。

二〜三日すると、巣が出来上がっていました。あっという間に巣を作ったので、おどろきました。巣が出来てからは、親つばめが巣にずっと居るようになりました。ベランダをのぞいても、親つばめは、逃げずに巣に居て、少し様子が違うので、(そろそろ卵を産むのかな。)と私は思いました。

しばらくすると、ベランダに卵のかけらが落ちていました。(ヒナが卵からかえったんだ。)

と私は思いました。親つばめは、巣と外を行き来してエサをあげていました。

順調に育っていると思っていた時に大変な出来事が起きました。大雨と風が強かった朝に巣がこわれてしまったのです。ベランダに巣のかけらとヒナが四匹、転がっていました。（せつかくヒナが産まれたのに、このまま死んでしまうのか。）私は、何とかならないか考えていました。

母がインターネットで調べ始めました。こわれた巣は、カップラーメンの容器で代用出来るとの事でした。私は代用出来るか心配でしたが、それに賭けてみる事にしました。

巣から落ちたヒナは、とても小さく、目も開いていませんでした。巣からは羽ばたきもせず、落ちてしまったと思います。全身を強く打って骨折してはいないか、心配でした。

子つばめは、親つばめの援助を受け、学習して、少しずつ生きる力をつけていきます。

つばめのヒナを私達人間が育てる事は簡単ですが、巣立ち後の子つばめに対しての援助や教育が出来ません。親つばめにはもう一度ヒナの子育てを再開して欲しいと思いました。カップに巣のかけらとヒナを入れて、少し高い所に置きました。元の巣の場所より低いので、様子が分かりやすくなりました。私達に出来る事は、親つばめがまたエサを与えてくれるのをただ待つだけです。

その日の夕方に、親つばめがきて、様子をうかがいながら巣に近づき、ヒナにエサを与え始めました。カップの巣は大成功でした。

その後、ヒナ達は巣立っていきました。あの時、見捨てず最後まで見守る事が出来て、つばめ達が無事に巣立ちを迎えられて、本当に良かったです。小さな命が未来へつながっていったのだと思います。